

生涯教育での過ごし方

生涯教育専攻 4 回生 當山 優

さて、「月日が経つのは早いね」なんてことをあちらこちらで聞く季節になりました。もう4回生の2月ですよ。ほんまにありえません(笑)はじめましての方も、こんな先輩いたっけ?とお思いでしょうが、私當山こと、と一ちゃんが生涯教育専攻で過ごした日々、大学生活の過ごし方について振り返りたいと思います。参考にされる方(いないでしょうけど)心してお読みください。私の大学生活は教職・三矢会・卒論・アルバイトの3つで語れるでしょう。

私はずっと奈良の学校で結局大学まで県外に出ることなく奈良ラブ生活でした。もう奈良から離れたくありませんね。とはいえ天理大学生涯教育専攻は高校時代の担任が「と一ちゃんにおすすめの専攻だよ」と言ってくださり、入学を決めました。

入学してまずあるのは「三矢会の新歓合宿」です。半ば強制的で恐々参加した覚えがあります(笑)そこではのちに呑み友達となる人とたくさん出会いました。私はとてつもない人見知りなのでそこでは全く仲良くなれませんでした…。その合宿で履修の仕方を2年の先輩に教えてもらって私の充実なる大学生活はほぼ決まったと言って良いでしょう。忙しい生活の始まりです。私は図書館司書と博物館学芸員と福祉の教員免許を取ろうとしました。それは4年間では難しいと言われたので、その先輩が教職の授業を取っていたという理由で教職の履修を選択しました。

1回生の私は目の回るような忙しさでした。教職課程を選択した私は専門分野だけでなく福祉の授業も選択していたからです。社会福祉専攻の友人ができたのはそのおかげでもありますね。そして、人生初のアルバイトも始めました。詳しくは言えませんが相当大変でした。今も昔もふくらですがそのアルバイトを始めてから10キロ近く痩せました。そのころはアルバイト漬けの毎日で学校の行事にもあまり参加できませんでした。大学生活にも慣れた秋に大学祭の準備を手伝うようになり天理大学生らしくなってきました。私は先輩方には本当に良くしてもらいました。今でも仲が良いのは三矢会での絆で生まれたのだと思います。

学科会である、三矢会は3専攻が1つになって会を形成しているのはここだけです。臨床心理専攻・社会福祉専攻の人と仲良くなれるツールでもあります。1回生の方は是非参加してみてください。2回生の方も遅くはありません。3回生の方!学祭だけでも参加してみてくださいは?ただし勉学は疎かにしてはいけません!!私はそれで1、2回生の時それぞれ教職の授業を1つずつ落としてしまいましたので…。

2回生になってからは1年間続けたアルバイトを辞めて、三矢会メインの生活でした。始め、私は幹部になるつもりなど毛頭ありませんでした。しかし、多くの友人と出会い、多くの笑顔に出会えた場所を更により良くしようと思って幹部になりました。むしろ、生涯の友人よりも臨床、社福との友人と遊ぶことが多く、先輩からは「ほんまに生涯??」

と言われていたほどです。遊びすぎて(笑)貯金が底をつき始めたので、新しいアルバイトを始めました。職場環境は良く、年配の方々に可愛がられながら楽しくお仕事をさせていただきました。2回生が一番遊んだなあと思います。思い返すと若いなあと感じます(笑)3回生になってからは私の大好きな人間力で有名な(笑)井戸和男大先生がご退職なさって、新しく佐々木先生が赴任してきました。今までになく熱い男、佐々木先生は初めこそ戸惑いましたが、丁寧な授業でとても好感が持てました。

三矢会でも上の立場になり、責任感が生まれました。私が楽しいだけではなく、周りにも楽しんでもらうにはどうしたら良いのかを毎回考えていたような気がします。残念であったのは3回生が中心となって企画する生涯の曾爾合宿に当日参加できなかった事です。まさか、豆腐で食あたりになるとは…(泣)3回生ともなると教職の授業がたくさんあり、生涯の専攻の授業よりも取っていたような気がします。また、この夏休みは介護基礎実習で高齢者の方と過ごし、社会教育実習では子どもたちと戯れ過ごしと、2つの実習をこなした年でもありました。

4回生になってからは、担任であった今西幸蔵先生がご退職なさって新しくフレッシュな福嶋先生が赴任されてきました。今だから言いますが私は福嶋先生のことをフクジュンとかげで呼んでいました(笑)先生の授業は1つしか取らなかったのですがNPOのことが詳しくわかりました。春には生涯のソフトボール大会に最後参加させてもらい、3回生と合同でしたが優勝できたのは本当に良かったです。卒論のゼミは希望通り、佐々木先生のゼミに配属され泣かされながらも…素晴らしい卒業論文が出来上がりました。秋には教職課程の集大成である教育実習にも2週間行ってきました。そこでも自分の知識の無さに泣きながら笑顔で終える事ができました。とはいえ、実習の前日まで天理大学祭の実行委員をしていた私ってある意味すごいなと思いました。自分の悔いのないように、やりたいと思ったら何でも参加することを勧めます☆そんなえらそうに語ってきた私ですが、就職活動ははっきり言ってほとんどしていません。こんな大人にならないためにもみなさんはきっちり就職先を決めてくださいね。私はどうしても教員という道が諦められないのでコツコツ勉強していきたいと思います。

最後になりましたが、私から生涯教育専攻に在籍している皆さんに言えることは、やりたいことは何でもすること。後先は考えない方がいいです。やりたい!と思ったら即行動あるのみです!迷った時には友人に相談するもよし、生涯の先生は快く相談に乗ってくれますよ。先生と生徒との距離が近い専攻、それが生涯教育専攻の魅力です。

そして勉強してください。生涯教育は深めれば深めるほど新たな疑問、課題が出てきます。私は「学習って何だろう?学ぶって何だろう?社会貢献は生涯教育なのか?」など答えが一つではない問題をひも解いている途中です。

大学生活の魅力よりも私のダメ学生ぶりを露呈する羽目になりましたが、私にもやりたいこと、やるべきこと、やりきること、まだまだたくさんあります。私のエッセイでみなさんが勉学に励むことを期待していますね。